

森の学校だより

ろうきん森の学校全国事務局 419-0305 静岡県富士郡芝川町下柚野165 TEL:0544-66-0790 FAX:0544-67-0567
URL : <http://www.wens.gr.jp/morinogakko/index.html> E-mail : forest@wens.gr.jp

森の人
Who's Who!?孫と自然が命の恩人
森の作業はその恩返しなんです

自然を感じ育てる暮らしに
新しい楽しさを見つけました

Q…森と親しむきっかけは、お孫さんとか？

私は今でこそ元気ですが、12年前は難病で入退院を繰り返していました。その転地療養のために、空気も水もきれいな郊外に山小屋を建てたんです。そこへ孫が遊びに来るようになり、一緒に森歩きを始めました。でも、孫が見ている自然は私の見ている世界とは少し違ったんですよ。視点が低いから小さな花もしっかり見て。そして、「なぜ花びらが5枚なの?」「色が違うのはなぜ?」と、何でもふしぎがる。私も自然は大好きで、定年後はキャンピングカーで全国を回るのが夢だったほどです。でも、孫の問いには答えられなかった。そこで「いわきの森に親しむ会」の自然案内人講座に申し込んだんです。そうしたら、おもしろくてね。今では森の作業や自然と共生した暮らしに夢中なんです。いつの間にか病気も治ってしまいました。だから、孫と自然は命の恩人なんです。

Q…湯ノ岳エリアの自慢は何ですか

とにかく恵まれたフィールドなんです。海と山があって、メタセコイアや炭坑跡も見つかっています。「昔はこの辺りも海で、セコイアが長い年月をかけて石炭になったんだよ」、という話ができる場所です。

ジイとバアは、何でも
知ってる森の偉人!

お話をする人

福島地区

野口 紘(のぐち ひろし)さん、ミツ子さん、莉沙(りさ)さん

1943年、福島県いわき市生まれ。12年ほど前に難病にかかり、入退院を繰り返すなか医者から転地療養を勧められ、孫と自然に親しむうちに回復。以来、「いわきの森に親しむ会」に入り、「ろうきん森の学校」の活動や森の作業にも熱心に参加している。

お魚も山菜も畑もあるし、親潮と黒潮の潮目で、北と南の植生の境目でもあり、生きものも変化に富む。個人的には、森を間伐すると林床の草花がどんどん育ちだす、あの感じが好きです。「ろうきん森の学校」には夫婦で参加していますが、指導のためにグリーンフォレスターや自然観察指導員などの資格もとりました。一緒に森を歩いた孫も今では中学1年生。私たちも、5人の孫はもちろん、湯ノ岳に来た子どもたちみんなの"ジイとバア"状態ですね(笑)。

Q…奥さまもチェーンソー片手にご参加とか？

(以下、奥さまのミツ子さん)
整備が好きなんです。夏は汗をかくし腰も痛くなるけど、気持ちがいいですよ。森の観察会で「この道はおばちゃんたちが作ったの」というと、子どもたちが驚くのも嬉しい(笑)。コースの中の環境教育の案内も、私たちの手作りなんです。今は、新しくできたフィールドの案内をみんなで制作中。水辺が近いので子どもたちも喜ぶと思います。いわきの初夏は鰯が旬。最高ですよ。山菜の天ぷらも40種類ちかくあります。ぜひ、遊びに来て下さいね。



都会のど真ん中で「ろうきん森の学校」体験入校!



木の気持ちになって空を見上げる…。



1月の新人研修参加者に遭遇! 研修で作ったペン立ても活躍中!

まだ冬の寒さが残る2月下旬、東京と千葉の労働金庫連合会職員の皆さんに「ろうきん森の学校」体験入校プログラムの出前講座をしてきました。「ろうきん森の学校」の活動を職員の皆さんにも知っていただこうと始まった取り組みも今年で3年目。今回は、身近な自然に目を向けようと、オフィス近くの公園に出かけてみました。

特に千葉の講座では、保健師さんの協力も得て健康増進も兼ねたウォーキングを導入。なんと、プログラム1時間半のうち1時間はひたすら歩く。スーツに革靴姿で寒さに身震いしながら軽く準備体操をしていざ出発。片道約30分のアスファルトの道を、街中で息づく自然を探しながら公園へと向かいます。春のにおいや風の音、鳥の声など、参加したみなさんは自然の息づかいを敏感に感じる事ができた様子。そして約30分。体がぼかぼかしてきたころ、公園では翡翠

色のカワセミがお出迎え。これにはみんなびっくりです。公園の森では、グループに分かれてお気に入りの木の「詩」を作ったり、森の生きものの気持ちで「葉っぱがなぜ緑色なのか」を考えたりしました。いつもと違う視点で森と過ごした時間と適度な運動のおかげか、行きと帰りでは皆さんの表情が激変。体も心もほぐれていく様子が印象的でした。

適度に体を動かすこと、自然の中に身を置くことで、心も体も健康になれると職員の皆さんにも実感していただけて、保健師さんご満悦。参加者の方からも「こんないいところがあったんだ」という声が聞かれました。

街の中にも自然はあります。運動がてら街の自然の変化を観察したり、「ろうきん森の学校」の活動へ参加する方が、どんどん増えることを楽しみにしています。

ありっちょの 体当たり 体験レポート vol.9

みんなで見つける 森の春

～「自然わくわく観察会
～野外料理体験」in 福島～



有正あかね
は1回休み

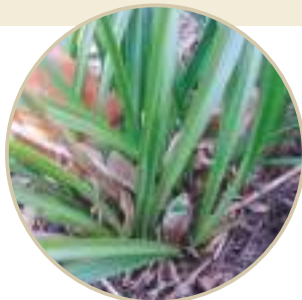
体験する人
服部奈津子

なっちこと服部奈津子は「ろうきん森の学校」富士山地区担当。「里のめぐみのおすわけ」のプログラムで里山しごとに汗を流し、旬のめぐみを味わっています。今回はおなじみ「ありっちょ」の代わりに初めて福島へ。何が待っているのか…わくわく!

今回、私たちを案内して下さるのは古川さんと草野さん。まず、出発前に草野さんから質問が出されました。

「春と言えば、何を思い浮かべますか?」。出てきた答えは「桜」「あったかさ」「花粉症」「入試・転勤」など、さまざまです。さあ、森ではどんな「春」に出会えるのでしょうか!?

葉を落とし、何もなかいのかのように見える早春の森。でも、よく見てみると…。ウグイスカズラの花。とっても小さくてピンクのお星様の形をしてい



これがシュンランの新芽。

食べられる野草がたくさん。



て、かわいい! 地面に視線を向ければシュンランの新芽。枝についている謎の小さな丸いものは何!? なんと、イラガの繭だそうです。冬を越し、外の世界に飛び出すのを心待ちにしているんでしょうね。

春先取りの気持ちいい森歩きのとには、お楽しみのお昼ご飯。ありっちょから聞かされていた「福島の味」がやっと食べられる! 今日のメニューは、焼き芋、石窯ピザ、きのこ汁、そして

野草の天ぷらと盛りだくさん!! 野草はフキノトウ、ノカンゾウ、ユキノシタ、セイタカアワダチソウなど、なんと12種類。サクッとした食感と野草のほろ苦さが口の中に広がり、まさに春の味。お腹も心も大満足の早春の福島地区でした。

森の案内人や仲間と歩くと、1人では気づけなかった発見がいっぱい。ぼかぼかお日様が心地よい春。お友達と一緒に森へ散歩にでかけませんか?



福島地区の植物博士、古川さんの説明を受ける。

海も緑も輝いています



湯ノ岳山頂近く、標高500m位の所にブナ林を発見しました。新緑の秘密のスポットになりそうです。

自然冒険
ゾーン

管理道路

保護ゾーン

体験林
ゾーン

森林学習
ゾーン

トレイル
(A)

バンガロー

モデル林
ゾーン

山菜・
キノコ
ゾーン

トレイル
(B)

広場

湯ノ岳山荘

炭焼き小屋

塩屋崎灯台

映画「喜びも悲しみも幾年月」の舞台、塩屋崎灯台。春の海の眺めは格別です。湯ノ岳山荘からは車で30分ほどです。



湯ノ岳山荘は山も川も海も楽しめるフィールドです。海岸は車で30分ほど。山荘からも海が見えます。

● 森の恵みと温泉を満喫!

さる1月19日、労働金庫連合会の職員13名が「ろうきん森の学校自然体験活動」の一部に参加しました。

当日は男性と女性の2班に分かれて活動しました。男性班は午前中、湯ノ岳フィールドの自然観察会、午後はヒノキ林の竹の除去作業と畑の収穫作業。直径10センチ以上、高さ15メートルものモウソウ竹は除去作業も



これぞ福島地区自慢の石窯料理です!

大変ですが、終わる頃にはみんな手慣れた様子でした。一方、女性班は、午前中には昼食用のピザとマイ箸作り、午後は自然観察会を行いました。昼食は女性班が腕を奮ったピザと石ガマ焼イモ。形こそ不揃いでしたがトッピングが絶品で、おいしくいただきました。初めて作った間伐材の箸も大活躍。終了後は近くの温泉で汗を流し、気持ちもカラダもスッキリして帰途につきました。

● さまざまなキノコ栽培に挑戦中!

湯ノ岳エリアでは、森の恵みを上手にいただく仕組みづくりの1つとして、野生キノコの発生促進にチャレンジしています。森林内の環境をキノコが発生しやすいようにして、そこに植菌し

たホダ木を置き、胞子を飛ばして自然発生へつなげられないかというものです。

2月16日の作業ではタモギダケ、エノキタケ、ムキタケ、クリタケ、ヒラタケ、ナメコの6種類のキノコのコマ打ち作業をしました。早ければ今年の秋には発生するのでは…と期待しています。



今年の秋が楽しみです。



キノコは森の掃除屋さん

森の民、日本人は無類のキノコ好き。元禄時代にはすでにシイタケ栽培を行っています。キノコは植物ではなくカビと同じ菌類の仲間。生きものの死がいや排泄物などの有機物を分解して土に還してくれる森の掃除屋です。土の中に細い菌糸を張り巡らせて増えますが、アメリカで発見されたオニナラタケは菌糸の広がりが約890万平方メートル、推定年齢2400歳というしなもの。世界一大きい生物として話題になりました。

新緑のなかで遊ぼう!



ツリーハウスがリニューアル。屋根つきの秘密の隠れ家です。お茶など飲んでほっこりできちゃいますよ。



ホノノキの花。5月に大きな花を咲かせます。甘い香りが魅力的。



動物小屋が富士山の見える場所にお引越し。日当たりもよく、動物達のお昼寝に最適!

浅間大社のやぶさめ祭り

5月4～5日。境内で勇壮な流鏝馬式が行われます。これは源頼朝が富士の裾野で巻狩りを行った際、浅間大社に流鏝馬を奉納したのがはじまり。

● 新しいツリーハウスが完成!

柚野エリアのツリーハウスが新しく生まれ変わりました。コンセプトは「子どものための未完成な遊び場」。1月と2月の計3回の作業で子どもたちの拠点となる「基地」を完成させました。

体力に自信のある人ない人、大工仕事の経験者から初心者までさまざまな参加者が、太い柱を立てるハードな作業、丸太に切り込みを入れて模様



森の中の家は最高に気持ちいい!

見せる繊細な細工、さらには大工や職人のプロの技まで、それぞれの特技を活かし、木の生命力や魅力を味わいながら作業を進めました。

コンセプトどおり、いつまでも進化し続ける「未完成な」夢の場所。キャンプが始まる夏に向け、さらに構想は広がる予定です。

● 森と畑のようちえん ～風であそぶ～

1月の「森と畑のようちえん」は「風」がテーマ。雪化粧の富士山のもとで手作りの凧や紙飛行機を飛ばしました。富士山と青空だけでも絶景なのに、その上元気に凧をもって走り回る子どもたちも加わり、見ていだけで幸せな気分になる1日。さらに夕方には風が

止む「凧」を利用して熱気球にも乗りました。

自家栽培のもち米でのお餅つきや、大根収穫の畑仕事も行ない、たくさん遊んで、たくさん食べて、大人も子どももすっかり「風の子」。ちなみに、熱気球では巨大バーナーの迫力に、子どもたちが「クモの子」を散らすように逃げ出しました…。



富士山より高く上がったよ～!

各地に残る、風の名前

関東地方の今年の「春一番」は2月23日。これは関東甲信・北陸地方特有の立春後におきる強い南風で、気象庁は防災もかねて予報を出しています。雨を伴う春の強風は「疾風(はやて)」、「東風(こち)」は春の東風の呼び名です。一方、秋に吹く突風は「野分(のわき)」。山から太平洋側へ吹き下ろす冷たい風は「おろし」といい、日本海側に吹き下ろすと「だし」と呼びます。風の名前を調べると、地域独特の気象と暮らしが分かりますよ。



初夏の山野に香る高貴な花



6月ごろになると、日当たりのよい森や野原にはササユリが花開きます。日本特産で、すばらしい芳香があります。



毎週月曜日に作業をする「平日作業隊」。彼らを中心として、いろんな道具を保管できる物置小屋を作っています。



●雪上プログラムの指導技術を学ぶ!

子どもたちの自然体験活動をサポートする技術を身につける「自然体験活動ユースボランティア養成講座」、最終回は雪山で雪上プログラムの指導技術を学びました。

午前中はスノーシューで真っ白な森を歩き、動物の足跡や雪と自然が生み出す造形を楽しみました。午後は2月開催の「わくわく探検隊」を想定し



ボールに向かって新雪をダッシュ!

たプログラム作り。安全管理も学びつつ、雪遊びのアイデアを考えて試してみます。ソリすべり距離出し大会、雪上ドッジボール、雪上ダッシュ(ビーチフラッグ雪上版)と、子ども顔負けにはしゃいだ大人たち。きっと「わくわく探検隊」も同じ賑やかな光景に違いありません(笑)。

●「こむぎプロジェクト」 ～麦踏み&パンづくり～

「今年は大収穫が期待できそう」。講師の徳永豊さんにそう太鼓判を押されるほど順調に生長している小麦ですが、2月の作業日はあいにくの大雪。労働金庫連合会と中国労働金庫から7名も応募をいただいたのに、雪で参加できない人がいるほどでした。麦踏みにも

適さない状況でしたが、実験的に少しだけ踏んでみました。昼食は国産小麦で作ったパンとダッチオーブン料理。身も心も温まり「大雪のなか来たかいがあった!」と喜ばれました。また、新企画の「食とのデートタイム」では「利きチョコレート」に挑戦。五感で食べものに接して普段気づかない食を見つめることができました。



初めてのパンづくり

世界有数の雪の国、日本

日本は北半球でも群を抜いて雪が多く、札幌はモントリオールの倍以上の積雪量があります。しかも気温が高いため、重くて湿った雪の害に苦しめられてきました。でも、冬の間、植物や動物が凍らずにすむのは、空気を多く含む雪が寒気を断ち布団となって地温を保ってくれるから。そして、春から初夏にかけてゆっくりと溶け田畑を潤す天然のダムにもなります。雪は日本の自然に、たくさんの恵みももたらしてくれるのです。



森の掲示板

事務局より

新年度が始まりました。桜の開花と共に新たな場所でスタートを切った方も多いのではないのでしょうか。今年から「みどりの日」が「昭和の日」に変わりますが、この前後にかけて各地で植樹や育樹のイベントが多数開催されます。新緑が日に日にまぶしくなるこの季節は、森づくりだけでなく環境全般について自然と関心が高くなる季節なのかもしれません。

4月から6月にかけては、さまざまな環境に関するイベントも開催されます。アースデイ(4/22)、G8環境大臣会合(5/24-26)、環境の日(6/5)、夏至・キャンドルナイト(6/21)などなど。こうしたイベントに参加するのはもちろんですが、本号の「トピックス」でも取り上げたように、身近な自然のなかに目を向けることが問題解決の第一歩にもなります。のんびりと新緑を楽しみながら新しい年をスタートさせたいものですね。

道具考

9

Dutch Oven

ダッチ・オーブン



西部開拓時代を思わせる鋳鉄の鍋。たき火の上でも安定するよう底に3本の足が付く。重い鍋ぶたで蒸気を閉じこめれば圧力調理、フタの上に熱い炭を乗せれば、上火の動きをしてオープン料理もできるキャンプ料理の万能選手だ。

ろうきん森の学校 活動予定

活動にはどなたでも参加できます。詳細は各地区の事務局にお問い合わせ下さい。

富士山地区

- 柚野エリア
- 田貫湖エリア
- 御殿場エリア

5月

- 3(土)~4(日) 森と田んぼのようちえん+(プラス)
~田植え・アイガモとご対面~
●18,000円(親子1組)
追加...大人10,000円
子ども(小2まで)5,000円
- 18(日) 里のめぐみのおすそわけ
~木とつきあう~
●2,500円

6月

- 5/31(土)~6/1(日) 森と畑のようちえん+(プラス)
~若葉であそぶ~
●18,000円(親子1組)
追加...大人10,000円
子ども(小2まで)5,000円

7月

- 5(土)~6(日) 森と田んぼのようちえん+(プラス)
~泥んこあそび・アイガモ池づくり~
●18,000円(親子1組)
追加...大人10,000円
子ども(小2まで)5,000円
- 20(日) 里のめぐみのおすそわけ
~夏の里山しごと~
●2,500円

Information

NPO法人ホールアース研究所 担当: 山川、井戸
419-0305 富士郡芝川町下柚野165
TEL: 0544-66-0790 FAX: 0544-67-0567
E-mail: forest@wens.gr.jp

Access

電車: JR身延線「西富士宮駅」よりタクシー15分
車: 東名高速道路富士I.C.より西富士有料道路経由40分



福島地区

- 湯ノ岳エリア
- 岩出・好間・藤原エリア

- 17(土) 自然わくわく観察会
~下草刈り~
●500円

定例作業 (誰でも参加できます。当日9時、現地集合)
● 第1、第3土曜日・毎週水曜日...森の手入れ
● 第2、第4土曜日・毎週月曜日...農作業
● 第1、第3日曜日...動植物調査
● 第2、第4土曜日...自然体験プログラム勉強会

- 7(土) 自然わくわく観察会
~花炭づくり~
●500円

定例作業 (誰でも参加できます。当日9時、現地集合)
● 第1、第3土曜日・毎週水曜日...森の手入れ
● 第2、第4土曜日・毎週月曜日...農作業
● 第1、第3日曜日...動植物調査
● 第2、第4土曜日...自然体験プログラム勉強会

- 12(土) 自然わくわく観察会
~木工クラフト~
●500円

定例作業 (誰でも参加できます。当日9時、現地集合)
● 第1、第3土曜日・毎週水曜日...森の手入れ
● 第2、第4土曜日・毎週月曜日...農作業
● 第1、第3日曜日...動植物調査
● 第2、第4土曜日...自然体験プログラム勉強会

Information

NPO法人いわきの森に親しむ会
970-8326 いわき市常磐藤原町湯の岳2 湯ノ岳山荘内
TEL: 0246-44-3273 FAX: 0246-44-3273
E-mail: yunodake@gray.plala.or.jp

Access

電車: JR常磐線「いわき湯本站」よりタクシー15分
車: 常磐自動車道いわき湯本I.C.より10分



広島地区

※毎週月曜日は里山整備活動。参加自由・無料。初参加は問い合わせを。

- 3(土)~4(日) 森の学校フェスティバル
~G.V.限定☆プログラム体験し放題~
- 5(月・祝) わくわく探検隊
~森の探検&野菜づくり~
●30,000円(全7回:小3~6年生、通年参加)
- 10(土)~11(日) ユースボランティア養成講座
~自然体験活動・技術編~ プログラムデザイン
●5,000円(宿泊費込み・高校生以上)

- 14(土)~15(日) ユースボランティア養成講座
~自然体験活動・熟練編~ ファシリテーション
●8,000円(日帰り通い・高校生以上)
- 21(土) こむぎプロジェクト~収穫と天日乾燥~
一般●2,000円 サポーター・学生●1,700円
中学生以下●1,500円
- 28(土) 自然観察会~明かりに集まる虫の観察~
●21日に同じ

- 5(土) 週末森づくり隊~下草刈り~ ●500円
- 6(日) こむぎプロジェクト~小麦の脱穀~
一般●2,000円 サポーター・学生●1,700円
中学生以下●1,500円
- 21(月・祝) こむぎプロジェクト~白挽きパンづくり~
●6日に同じ
- 27(日) わくわく探検隊~ツリクライミシング&カメラ~
●30,000円(全7回:小3~6年生、通年参加)

Information

NPO法人ひろしま自然学校
733-0004 広島市西区打越町11-8-207
TEL: 082-237-1163 FAX: 082-237-8863
E-mail: nkk2002@mac.com

Access

電車: JR山陽新幹線「広島駅」よりバス60分
車: 広島自動車道広島北I.C.より20分

